

# 鳥取県

## SS業界の 新たな方向性を示唆

需要の減少や人手不足の問題など、とすれば閉塞感漂うSS業界にあって、新たな可能性と夢を創造し続けるSS事業者が、ここ鳥取県に在る。出光昭和シェル系販売店の智頭石油（本社）八頭郡智頭町／米井哲郎社長がそれだ。

米井社長は、系列を超えたカーケア優良事業者の有志団体・CAL研究会を主宰し、数々の有益なTCSSシステムを業界に送り出したことで知られるが、このたび開発した顧客とSSをつなぐ情報アプリ「マイビット」（ダウンロード無料）は、次世

代のSS運営の在り方を示唆すると高い注目が集まっている。同アプリの内容は明快だ。利用者には家に居ながらにして、オイルやタイヤ交換などのビット予約をはじめ、SSそれぞれのサービスメニューに合わせてコーディネートやレンタカー、カーシェア、灯油配達などの予約が入れられる。とくに智頭石油では、24時間365日稼働の整備工場「TMコーポレーション事業」を展開しており、緊急時にボタン一つでレスキュー依頼が行えるロードサービスを提供できるの大きい。

改めて中国（上海、深セン）とインド（バンガロール）にも足を伸ばすなど、世界の主要シリコンバレーを1年の間に続けて視察した。

同アプリに限らずだが、絶えず新たにダウンロードしなくても、随時最新システムにアップロードされるのが強い。「マイビット」も、SSだけの利用にとどまらず、今後は異業種とのタイアップ情報や、CALメンバーによる共有在庫販売（C2C）など、いろいろな可能性を視野に入れていく。まさにSS発・地域のプラ



智頭石油・米井哲郎社長

ットフォームといえるだろう。実は米井社長の狙いもそこにある。「GAF Aと呼ばれる米IT大手は人々の日常に深く入り込み、日本を含む世界の様々な市場を次々と独占している。その強さのカギを握るのが、独自にプラットフォームを構築していることだ。しかし、彼らにも弱点がある。ネットを介したサービスを提供しているだけで、リアル店舗や現場のスタッフを備えていないということ。これはカーケアの分野に限れば、地元SSの方に分があるとも言える。

飯に、自分たちの提供できるサービスや能力を組み合わせて新しい価値観を打ち出すことができれば、超ローカルのプラットフォーム「マイビット」として存続できるはず」と考えた。

### 新たな価値観を 創造する仕事へ

居ても立ってもいられなくなった米井社長はCAL研究会の有志を誘い、IT本場の海外視察へと渡航。それもアメリカ（ロス、サンフランシスコ、サンディエゴほか）だけでなく、日を

面白いのには、テスラなどの工場にも、アポなし&伝手なしで出向き（もちろん入場不可）、ぐるりと周回して雰囲気だけでも味わってきたこと。それでも期間中はすべてユーザーなどの配車サービスや個人間カーシェアシステムを利用し、宿泊もAirbnbを全行程で利用するなど、ITライフの最前線を肌で感じてきた。

「すべての決定権がお客様の手中にある。これまでSSは、待ちの商売」に徹し、時に異業種からの攻勢も受けてきたが、もしお客様の手の中（スマホ）に入ることであれば、地域のお客様の生活を変える立場になれる。これが、存続の道であるし、また自分たちが目指すべき新たな事業領域だと感じた」と振り返る。

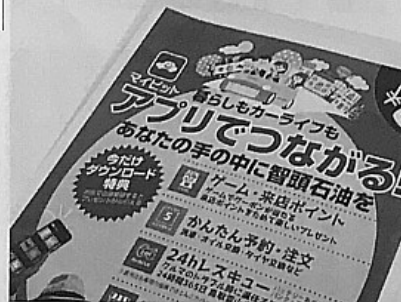
SSビジネスを軸に、新たな体験やサービスを創造すること。その途端、夢や希望が持て

るようになったという。地域社会に新たな価値観を提供する仕事だと思えば、働き甲斐も増してくる。既存の社員の期待値はもとより、新しい人材も集まってくるのではと思えるようになったそうだ。

「もちろん、どんなアプリもお客様にダウンロードされ、暮らしの中で使われるようになってこそ。常にお客様目線を意識し、これからもCAL研究会の仲間や自社の若手社員らの意見を取り入れながら、選ばれるア



3カ国海外視察の様子は、智頭石油・米井社長が400頁近いバポで詳細にまとめている



「マイビット」があれば、事故時のレスキュー依頼も3ボタンでOK。その他、お得で楽しい情報も満載だ。なお、「マイビット」は全国の系列SSでも利用可能だ

アプリ開発を続けていきたい。そしてSSが地域の暮らしやカー

ライフのプラットフォームとして継続発展していけるよう、

仲間と力を合わせていく所存です」と話している。